

平成 27 年度

「社会とつながる力(コミュニケーションスキル講座)」

資料(指導計画・教材・評価・通級関係等)



平成 27 年 11 月 17 日

静岡県立静岡中央高等学校

通信制の課程

「社会とつながる力（コミュニケーションスキル講座）」について

静岡中央高校 通信制の課程

1. 校内支援委員会

静岡中央高校は、コミュニケーションスキル講座関係資料、講座通信やコミュニケーションスキル講座の様子を撮影したビデオ等を委員に送付します。委員はそれら資料やビデオ等、あるいは実際にコミュニケーションスキル講座を見学して、「校内支援委員会」にて専門的立場からの指導助言を与えます。静岡中央高校は、指導助言を講座運営の参考にしていきます。

精神科医	服部 功	医学博士・南町クリニック院長
カウンセラー	石川 令子	臨床心理士
キャリア教育アドバイザー	佐々木ゆかり	進路支援コーディネーター(H25)

2. 講座実施スタッフ

実施会場		東部キャンパス	中央キャンパス	西部キャンパス
本校の主たる担当者		鮎京・遠藤	○大石・佐野・中川	生熊・森下・川村
外部講師	SST 講師	三好 徹史 荻野 志保	押尾 幸子	山本 洋見
	特別支援教育支援員	西野 彰啓	滝井 楓	芦田 政巳
		勝又 稔枝	山内 千怜	上村 訓子
	カウンセラー	若尾美智子	今木 久子	滝浪 有子
キャリア教育アドバイザー	佐々木ゆかり			

3. コミュニケーションスキル講座実施日

前期			後期		
1	6月14日(日)	開講式含む	1	10月18日(日)	開講式含む
2	6月21日(日)		2	11月8日(日)	
3	7月5日(日)		3	11月15日(日)	
4	7月12日(日)		4	11月29日(日)	
5	8月23日(日)		5	12月13日(日)	
6	9月6日(日)		6	1月10日(日)	
7	9月13日(日)		7	1月24日(日)	閉校式含む
8	9月20日(日)	閉校式含む			

4. コミュニケーションスキル講座実施時間

時間		内容	生徒	講師	特別支援 教育支援員	キャリア 教育	本校職員
9:45 ~ 10:05		準備					○
10:05 ~ 10:15	講座	生徒集合【スタッフ会議】	△	○	○	○	○
10:15 ~ 11:05		SST 講座 体験活動	目標設定	○	○	○	○
11:05 ~ 11:15			活動	○	○	○	○
11:15 ~ 12:05			振り返り	○	○	○	○
12:05 ~ 12:50	昼	昼休み	△				
12:50 ~ 13:10		自由時間【スタッフ会議】	△	○	○	○	○
13:10 ~ 13:20							
13:20 ~ 14:10	講座	SST 講座 体験活動	目標設定	○	○	○	○
14:10 ~ 14:20			活動	○	○	○	○
14:20 ~ 15:10			振り返り	○	○	○	○
15:10 ~ 15:20		生徒解散	△	○	○	○	
15:20 ~ 15:50		片づけ【スタッフ会議】		○	○	○	○

5. コミュニケーションスキル講座指導計画（年間）

【東部キャンパス】

回数	日程	区分	内容
第1回	6/14	SST	開講式、自分の個性を知ろう
		体験	名札作りをして自己紹介をしよう
第2回	6/21	SST	アイスブレイク、アサーティブを知ろう
		体験	ガーデンシティ三島！お花のお手伝いをしよう。
第3回	7/5	SST	アイスブレイク、聴く姿勢を身につけよう
		体験	三島コロッケの作り方を聞きに行こう！
第4回	7/12	SST	アイスブレイク、私言葉で会話しよう
		体験	三島コロッケを作ってみよう！
第5回	8/23	SST	アイスブレイク、ごめんの一言ありがとうの一言
		体験	作り方を教えてくれたお店へお礼の手紙を書こう！
第6回	9/6	SST	アイスブレイク、三つの自己表現
		体験	自分好みのキャンドルを作ろう！
第7回	9/13	SST	アイスブレイク、気持ちの良い話し合い
		体験	パーティーで何を作って食べるか決めよう！
第8回	9/20	SST	アイスブレイク、未来予想図
		体験	終了パーティー、閉講式
第9回 (後期1回)	10/18	午前	開講式、自分を動かす原動力は何だろう？
		午後	名刺交換をして仲間の名前を覚えよう
第10回 (後期2回)	11/8	午前	アイスブレイク、さわやかに自分を表現しよう
		午後	バルーンバレーで自分を表現してみよう
第11回 (後期3回)	11/15	午前	アイスブレイク、イイネ！そのリアクション
		午後	ふるさとガイドの会の方に三島のことを教えてもらおう
第12回 (後期4回)	11/29	午前	アイスブレイク、長く付き合える信頼関係
		午後	ふるさとガイドの方の話を聞き三島のガイドブックを作ってみよう
第13回 (後期5回)	12/13	午前	アイスブレイク、失敗を乗り越えよう
		午後	パソコンで履歴書作り
第14回 (後期6回)	1/10	午前	アイスブレイク、トラブルを解決しよう
		午後	修了パーティーの話し合いをしよう
第15回 (後期7回)	1/24	午前	アイスブレイク、大人会話に挑戦しよう
		午後	修了パーティーをして別れを惜しもう、閉講式

【中央キャンパス】

回数	日程	区分	内容(Aグループ)	内容(Bグループ)
第1回	6/14	SST	ガイダンス・自己紹介	職業とは(人生80年)
		体験	似顔絵づくり	
第2回	6/21	SST	マイムマイム・替え歌を作ろう	自己紹介①(自己分析)
		体験	じゃんけんゲーム	
第3回	7/5	SST	コミュニケーションゲーム・決断	自己紹介②(言葉で伝える)
		体験	ふうせんバレー・店員さん経験	
第4回	7/12	SST	大人になることを知る	自己紹介③(相手を受け入れる)
		体験	公共マナー・暑中見舞をつくる	
第5回	8/23	SST	ディベート	ストレスへの対処(ストレス分析)
		体験	パソコン実習・誕生会案内作成	
第6回	9/6	SST	ディスカッション	自己紹介コンプリート
		体験	かき氷をつくる	ストレスへの対処(からだの変化)

第7回	9/13	SST 体験	働いてお金を得るために 履歴書づくり	社会での言葉遣い パソコン実習
第8回	9/20	午前 午後	「聴く・話す」「自分の履歴書」 「パーソナルポートフォリオ」, 閉講式	
第9回 (後期1回)	10/18	午前 午後	「聴く姿勢・態度を身につけよう」アサーティブトレーニング 「自己紹介」人前で話してみよう	
第10回 (後期2回)	11/8	午前 午後	「言葉で感情を伝えよう」気持ちを表す言葉 「ロールプレイ」先生・父・母・友達	
第11回 (後期3回)	11/15	午前 午後	「友情を深めよう・ディスカッション」『ありがとう』和田重正作 「トランプ遊び」	
第12回 (後期4回)	11/29	午前 午後	「長く付き合える信頼関係」 「ロールプレイ」	
第13回 (後期5回)	12/13	午前 午後	「働くのに必要な力」ディスカッション 「名刺づくり・名刺交換」パソコン実習	
第14回 (後期6回)	1/10	午前 午後	「職場での人間関係づくり」言葉遣い・身だしなみ 「一人暮らしの間取り作成」	
第15回 (後期7回)	1/24	午前 午後	「面接での自己PR」良い印象を与えよう 「パーソナルポートフォリオ」, 閉講式	

【西部キャンパス】

回数	日程	区分	内容	
第1回	6/14	SST 体験	開校式・ガイダンス・自己紹介(好きなものウェーピング)	名札作り・自己紹介のロールプレイ
第2回	6/21	SST 体験	就労支援講座	就労支援講座
第3回	7/5	SST 体験	他者紹介&インタビュー	インタビューロールプレイ(二人一組)
第4回	7/12	SST 体験	他人行動と人間関係	私の人間関係地図(地図作成)
第5回	8/23	SST 体験	友達との人間関係(友人作りのスキルを身につける)	お楽しみ会(「アナと雪の女王」鑑賞)
第6回	9/6	SST 体験	人間関係講座①「アサーション」	アサーションのロールプレイ(二人一組)
第7回	9/13	SST 体験	敬語を知ろう	新居関所訪問(受付での対応・公共機関での対応)
第8回	9/20	SST 体験	人間関係講座②「アサーション」	指人形でアサーション寸劇
第9回 (後期1回)	10/18	午前 午後	将来を考える(ライフステージ・ライフサイクル)	人生ゲーム
第10回 (後期2回)	11/8	午前 午後	ライフプロフィールシート(仕事、結婚、家庭生活、人生の価値観)	ミート&ミーティング
第11回 (後期3回)	11/15	午前 午後	自己アピール(ウェーピング)	海岸に木の実を拾いに行く
第12回 (後期4回)	11/29	午前 午後	引き出しインタビュー(相手のセールスポイントを引き出す)	クリスマスリースをつくる(グループワーク)
第13回 (後期5回)	12/13	午前 午後	コミュニケーションスキルの獲得(グループワーク)	クリスマス会(2回目の自己紹介・他己紹介)
第14回 (後期6回)	1/10	午前 午後	エントリーシートの作成	手作りチョコを作る
第15回 (後期7回)	1/24	午前 午後	心の花束(ポジティブな言葉を用意)	お別れ会(チョコパーティー)

コミュニケーションスキル講座受講者

(1)前期受講者

	氏名	ふりがな	性別	年齢	学年	高校名	参加 C
1			女	17		静岡中央(通)	東部
2			男	16	2		
3			男	17	3		
4			男	17	3		
5			男	15	1		
6			女	15		静岡中央(通)	
7			男	17	3		
8			男	15	1		
1			男	15	1		中央
2			女	17	3		
3			女	16	2		
4			男	16	2		
5			女	18	3		
6			男	17	3		
7			女	18	3		
8			男	18	3		
9			女	15	1		
10			男	15	1		
11			男	15	1		
12			男	15			
13			男	15	1		
14			女	17		静岡中央(通)	
15			女	16		静岡中央(通)	
16			女	17		静岡中央(通)	
17			女	21		静岡中央(通)	
1			男	17		静岡中央(通)	西部
2			男	15		静岡中央(通)	
3			男	16	2		
4			男	16		静岡中央(通)	
5			男	18		静岡中央(通)	
6			男	15	1		
7			女	17	3		
8			女	17	3		
9			男	17	3		
10			女	17	3		
11			男	17	3		
12			女	18		静岡中央(通)	
13			女	17	3		
合計 38 名							

(2) 後期受講者 (11/6 現在)

	氏名	ふりがな	性別	年齢	学年	高校名	参加 C	
1			男	16	2		東部	
2			男	17	3			
3			男	16	2			
4			男	16	2			
5			女	18		静岡中央(通)		
6			女	17	3			
7			男	16	2			
8			女	17		静岡中央(通)		
9			男	16	1			
10			男	16	2			
11			男	18	3			
12			女	17		静岡中央(通)		
13			男	15	1			
14			女	16				
1		↑ 午前グループ ↓	男	17	3		中央	
2			女	18	3			
3			男	18	3			
4			女	18	3			
5			男	15	1			
6			女	15	1			
7			男	15	1			
8		↑ 午後グループ ↓	男	15				
9			男	15	1			
10			男	15	1			
11			男	16	2			
12			男	17	2			
13			男	19				
14		↑ 午前又は午後グループ ↓	女	17		静岡中央(通)		
15			女	21		静岡中央(通)		
16			女	17		静岡中央(通)		
17			女	21		静岡中央(通)		
1			男	15		静岡中央(通)	西部	
2			男	16		静岡中央(通)		
3			男	16	2			
4			男	16	1			
5			女	17	3			
6			男	17	3			
7			男	17	3			
合計 38 名								

6. 教材

(1) 指導案・指導プリント（後期サンプル）

対 象	自己のプロフィールを的確な言葉で表現するのが苦手な生徒
ターゲットスキル	自分のことを知る【自分らしさの理解 ^{基礎} 】
関連する講座	「自己紹介コンプリート」

ねらい

自己紹介とは、自分のことをよく知らない相手に自分のことを正しく伝え、自分について良い印象を持ってもらい、今後のつきあいを円滑に進めるためのものである。

相手に良い印象を与えるためには、内容と話し方に気をつける必要がある。今回は、自己紹介の内容に重点を置き、自己紹介をする相手にあった適切な話題を選ぶことを中心に学ぶ。

本時の目標

- 自己紹介では、相手に良い印象を与えることが大切であることがわかる。
- 自己紹介で使える話題をできるだけ多く挙げ、分野ごと整理することができる。
- 性格を表す言葉を多く挙げることができる。
- 自己紹介で相手や場面に合った適切な話題を選ぶことができる。
- 相手や場面に合った自己紹介の原稿を作ることができる。

指導過程（90分～）

1 はじめの言葉（本時の内容を生徒に伝える）

5分

自己紹介では、自分のことをよく知らない相手に自分のことを正しく伝え、自分について良い印象を持ってもらうことが大切です。しかし、自己紹介で何を話せば良いかわからないという人も少なくないでしょう。今日は、自己紹介をする相手や場面に合った内容を選び、自己紹介文を作る練習をしてみましましょう。自分に興味を持ってくれた人と友達になることができればいいですね。

2 導入（シートA つかもう）

25分

- 1 自己紹介をする時に、困ることや不安に感じることを記入する。
- 2 自己紹介するときに見える話題について、自分に関する表面的な内容から、心情など内面や家庭にまで踏み込んだ内容まで分野ごとに整理する。
- 3 性格を表す言葉を「長所」「短所」に分けて挙げ、自分の性格に当てはまる言葉を選ぶ。

3 展開（シートB 深めよう）

55分

- 1 自己紹介をする相手や場面に合った話題の選び方をグループで話し合い、場面に合った適切な話題を共有する。
- 2 相手との「心の距離感」により「広く浅く」いろいろなことを話すか、「狭く深く」一つのことを掘り下げるかなど、話す相手を想定し適切な話題を考える。
- 3 具体的な場面を想定し、実際の自己紹介の原稿を作成する。（10～15分）
- 4 各自自己紹介を行う（20～25分）

4 まとめ（シートC 振り返ろう）

5分

- 1 シートAおよびBの内容を自己評価し、点数をつける。
- 2 本時の取り組みをまとめる。

A つかもう 「話題をメモする」

一般常識クイズ

○×自己診断

アイデア出し

セリフ入れ

1 自己紹介で自分のことを伝えるための話題として、次のようなものが考えられます。確認して、自分のことを整理してみましょう。

分野		話題の例
表面的なこと ↓ 内面的なこと	氏名	
	生年月日	
	血液型	
	好きな教科	
	家での過ごし方	
	性格 長所	
	短所	
	家族構成	
	部活動	
	好きなTV番組	
	好きな食べ物	
その他		
感想		

*その他の話題があれば付け加えておきましょう。

おまけ

自分が挙げた「性格」の表現を、長所・短所の2種類で表現してみましょう。

例…「明るい、陽気」(長所) → 「うるさい、落ち着きがない」(短所)

*見方により、長所は短所にもなり、短所は長所にもなります。覚えておきましょう。

B 深めよう 「聴く時の態度をチェック」

授業形態



活動方法



1 人の話を聴く態度に関する以下の(1)～(4)の項目について、自分の望ましい聴き方について、具体的に記入しましょう。

(1) 話し手の言葉がはっきり聞こえない。	
(2) だいたい理解できたが、 今一つよく分からないなあと思った時	
(3) 話し手と自分の感じ方・思いが だいたい同じだと思った時	
(4) 話し手と自分の感じ方・思いが 全く違った時	

2 人の話を聴く時の態度について、次のうち自分に一番良く当てはまると思うもの一つに○をつけてください。

- (1) () 自分の順番が来るまで落ち着かず何を言おうか頭がいっぱいで人の話を聴けない。
- (2) () 皆の意思に興味を持ちながら聴く方だ。
- (3) () 他の人の表情やしぐさ・しゃべり方等を気にしながら聴いている。
- (4) () 皆がどのような人なのかを憶えるために話す内容をメモしながら聴くことが多い。
- (5) () 話をしている人や皆に向かって、自分の思いついたことを発言しながら聴く。

★ ワンポイントアドバイス

「聞く」と「聴く」の違い

「聞く」：音が耳に入ってくる。聞こえてくること。

「聴く」：意思を持って耳を傾けること

つまり、受け身時に漠然と「きこえる」のが「聞く」

一生懸命耳をすませて「きく」のが「聴く」ということである。

実施日

年

月

日

生徒番号

氏名

C 振り返ろう

本時の取り組みを振り返ってみましょう。



◇人の話を聴く時の望ましい態度について理解できたでしょうか？

◇次のチェック項目について、自己評価しましょう。

チェック項目	評価点を○で囲む (←できた・・・できなかった→)
1 相手の感じ方、考えに興味・関心を持って聴くことができた。	5・4・3・2・1
2 相手の感じ方・考え方に共通点を見つけることができた。	5・4・3・2・1
3 相手の感じ方・考え方と自分の感じ方・考え方の違いを見つけることができた。	5・4・3・2・1
4 話を聴く時の望ましい態度について。話して・聴き手の立場から指摘する事ができた。	5・4・3・2・1
5 人の話を聴く時の望ましい態度や姿勢について理解できた。	5・4・3・2・1
(今日のワークの感想)	評価得点 _____ポイント

◎ 20pt 以上…Excellent! ○ 10pt 以上～20pt 未満…Good! △ 10pt 未満…Try again!

★コラム

「たずねる」とは？

「尋ねる」は英語で「ask」だね。質問して相手から情報を得る事。情報だけでなく、相手の感情や関心の対象等を知ることができる。

「尋ねる時のポイント」

心から相手の事を知りたいという姿勢を大切にしよう！

- ・相手の考えや思いに興味を持つ
- ・先入観を持たない
- ・相手が答えやすい雰囲気を



7. コミュニケーションスキル講座通信

(1) コミュニケーションスキル講座通信(前期サンプル)

平成27年9月6日(日)

コミュニケーションスキル講座通信(前期第6回)

静岡中央高校中央キャンパス

■午前の部

【コミュニケーションゲーム】

三人組になり、先月あった殺害事件について話合いました。「なぜ、二人は殺害されなければいけなかったのか?」「子供が、夜遅くまで出歩き、親は心配しないのか?」など、どうすれば、事件を防げたのかたくさん意見がでました。

【ディスカッション・自己紹介】[Aグループ]

Aグループは、大人に言いたいこと・大人になりたくない理由、自己紹介について学びました。「子供の話を聞いてくれない。」「大人なのにあたりまえの事ができない人が多い。」など、さまざまな意見が出ました。自己紹介は、自分の得意な事を披露したり、緊張しながらも、自分らしく発表することができました。

【自己紹介コンプリート】[Bグループ(副校長先生コーナー)]

Bグループは、①自己紹介のための自分を見つめる作業をしました。自己紹介するための自分自身のアイテムをそろえることができました。そして、②言葉によるコミュニケーション以外の方法、表情・手ぶりなどによって、相手に与える印象が違うことを学び、実際にどのような態度や表情で話せば、相手にいい印象をあたえるのか、気を付けながら自己紹介をしました。



全員で



Aグループ「ディスカッション」



Bグループ「自己紹介」

■午後の部

【作業】

Aグループは、クリップ・輪ゴムの袋詰め、新聞のスクラップ、ミスプリントの訂正、自分でやりたいことを選択し、黙々と集中し取組ました。

【ストレス対処法】Bグループは、ストレス対処法について学びました。

【かき氷を作る】お客様から注文を受ける人、かき氷を作る人、配膳する人、器を洗う人それぞれ担当に分かれて、接客を楽しく学びました。かき氷もおいしくいただきました。



Aグループ「作業」



Bグループ「ストレス解消法」



全員で「かき氷をつくる」

【次回9月13日(日)の予定】

- ・Aグループ「大切なものについて・履歴書の書き方」、Bグループ「文書表現・パソコン実習」
午前Aグループの生徒は午後にはBグループで実施し、全員が上記A・Bの両方を行います。
- ・持ち物：お弁当、飲料水、必要な常備薬、身分証明書、保険証のコピー、その他講座に必要なもの
- ・欠席する場合は、できるだけ前日までに、当日は8時30分～9時までに連絡してください。

コミュニケーションスキル講座通信

第8号

平成27年10月1日

静岡県立静岡中央高等学校

通信制の課程 東部キャンパス

電話 055-928-5757



皆さん、こんにちは。今号は発行が遅くなりました。すみません。

さて、先々週9月20日をもちまして本講座前期が無事終了しました。(受講生の皆さんにとっては修了。) その様子を振り返ってみたいと思います。

まず、前半のソーシャルスキルトレーニングですが、今回はアイスブレイクを省略して、「未来予想図」5年後の自分を考えてみました。受講生の皆さんはかなり苦戦していたようです。希望する職業に就くために何が必要か。5年後の自分はどんな立場にいるのか。想像することは難しいですね。知識も求められます。意識と知識は同時進行の関係にあるような気がします。

そして、お昼前から準備に取り掛かり、保護者の方や先生達も参加してのバーベキュー。天候に恵まれてよかったですね。実は、このバーベキュー、毎年企画されていたのにいつも雨で、なんと2年越しだそうです。皆さんの心がけのおかげですね。味は、いうまでもありません。お肉も、いろいろ楽しみましたし、とうもろこしや野菜も美味しかったですね。サツマイモのホイル焼き、私初めてでした。そしてなんといっても焼きそば。17玉完食でした。



お腹が満ちたところで、スピーチタイム。講座を受講しての感想を、受講生の皆さんや保護者の方から、講義を実施しての感想を先生方から述べていただきました。聞き応えのあるお話、ありがとうございました。

初めがあれば終わりがある。楽しいこともつらいことも。バーベキューも後片付けがある。でも、皆で力と声を合わせて短時間で終えることができました。

最後は閉講式。修了証をお渡ししました。皆さん、受講ありがとうございました。

後期も引き続きどうぞ御参加ください。

後期の申込

○静岡中央高校以外の生徒

「平成27年度静岡中央高等学校通信課程後期コミュニケーション講座募集要項」が各学校に送付されています。担当の先生に確認のうえ申込の手続きをとってください。

○静岡中央高校の生徒

副校長青木のところまで申込書を取りにきてください。



後期申込締切は10月9日です。

(2) コミュニケーションスキル講座通信(後期サンプル)

コミュニケーションスキル講座通信(後期第1回)

平成27年10月18日(日)

静岡中央高校中央キャンパス

■午前の部

【開講式】世の中、幼馴染み・気心の知れた仲間ばかりではない。苦手な人と一緒に勉強・仕事をすることもあります。育った環境も考え方も違う、そんな人々とコミュニケーションすることがよくあり、そのためのスキルを磨くのがこの講座です、というお話がありました。

保護者会も開かれ、保護者の方々の情報交換が行われました。

【花を見てどう思いますか?】

風船・すす・いそぎんちゃく、色々な意見が出ました。人それぞれ、思うことや、考え方がこんなに違うということ学びました。

【今日の目標】

「相手の事を考えて、話ができるように」「自分の思った事を自分の言葉で伝えられるように」など、今日一日の目標をそれぞれが発表しました。

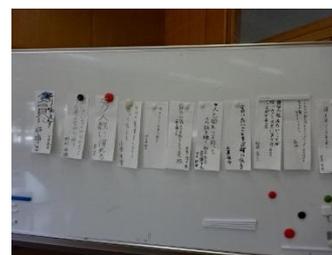
【聴く姿勢・態度を身に付けよう】「もっと自由に!」パット・パルマ著(朗読)心に響いた箇所について「心の中で願うのもいいけど、言葉にしなければ伝わらないよ」「自分の思った事を伝えるのが苦手なので、伝えられるようになりたい」など、自由に感想を述べました。



開講式



花を見てどう思う?



今日の目標

■午後の部

【自己紹介】人前で話してみよう

プリントに沿って、家での過ごし方・好きな食べ物など、を発表しました。聞いた人から質問があれば答えます。発表している友達に「どんな人かな?」「何が好きかな?」など、興味を持って質問することができました。



自己紹介の内容を考える



自己紹介



自己紹介

【次回11月8日(日)の予定】

- ・次回から、午前のグループ、午後のグループと2グループに分かれて実施します。
- ・午前のグループは10:15~「言葉で感情を伝えよう」「俳句を作る」
- ・午後のグループは13:20~「感情を適切に表現するロールプレイ」
- ・昼食・自由時間12:05~13:20、午前・午後のグループが共に活動します。
- ・持ち物:弁当(必要に応じて)、飲料水、常備薬、身分証明書、保険証のコピー、その他
- ・欠席する場合は、できるだけ前日までに、当日は8時30分~9時までに連絡してください。

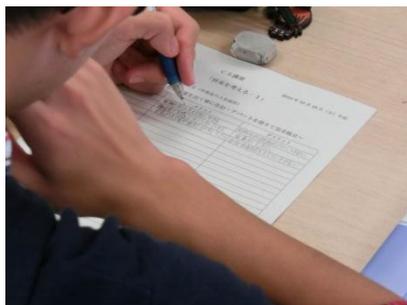
静岡中央高校 054-209-243

1 参加者：午前 6名、午後 6名 保護者 1名

2 活動内容（午前） 【 将来を考える(ライフステージ、ライフサイクル) 】

- ・後期の講座が始まりました。前期からの継続参加生が6名、新規の参加者1名です。《今回の講座の目標は》
「将来を考える時、自分の気持ちを知り、他人の価値観を知ることが出来るようになる」です。
- ・開講にあたり牧田副校長先生からごあいさつをいただきました。
- ・卒業後の人生設計を考えるにあたり、家族と同居か別居かでメリット・デメリットを考えました。
- ・就職で大切なもの「出世・時間・収入・社会性・安定・人間関係・仕事」で順位付けをしてみました。

講座風景



活動内容（午後） 【 理想のカップリング 】

- ・「おとぎ話の主人公たちの理想の相手を探す」というグループワークをしました。
- ・それぞれ5名の男女の希望コメントを参考に最適な相手を探します。
- ・多数決ではなくお互いの意見を尊重しながら話し合いをしました。
- ・最後にカップリングの理由を発表しあいました。

講座風景



～ お知らせ ～

講座開催日に、カウンセラーとの面談を希望者に行います。

保護者との2者でも構いません。

講座の参観がてらにお気軽にお越しください！

8. 自己評価のためのシート

(1) スキルチェックシート【講座前後用】(後期サンプル)

コミュニケーションスキルチェック

実施日 年 月 日

1. 聞く

		はい	どちらとも	いいえ
1	人の話を聞くことが好きである			
2	人の話を最後まで聞くことができる			
3	わからないことを誰かにたずねることができる			
4	どんな人の話も同じように聞くことができる			
5	相手の気持ちを考えながら話を聞くことができる			
6	相手の顔を見ながら話を聞くことができる			
7	自分と異なる意見や考え方を否定しない			
8	相手の主張・意見をきちんと理解することができる			
9	相手の話を聞いた上で、会話を続けていくことができる			
10	いつでも、どこでも、どんな人の話でも聞くことができる。			
合計点(はい…2点 どちらともいえない……1点 いいえ……0点)		1の合計 →		

2. 伝える

		はい	どちらとも	いいえ
1	言いたいこと(感じていること)を正確に相手に伝えることができる			
2	相手がまちがっているときに注意ができる			
3	親切にされた時に「ありがとう」と言うことができる			
4	まちがったことをした時に「ごめんなさい」と言うことができる			
5	身ぶり手ぶりを交えて話をするができる			
6	みんなの前で大きな声で話をするができる			
7	電話で遅刻や欠席などの連絡ができる			
8	みんなの前で自己紹介をすることができる			
9	大きな声であいさつができる			
10	いつでも、どこでも、誰にでも声をかけることができる			
合計点(はい…2点 どちらともいえない……1点 いいえ……0点)		2の合計 →		

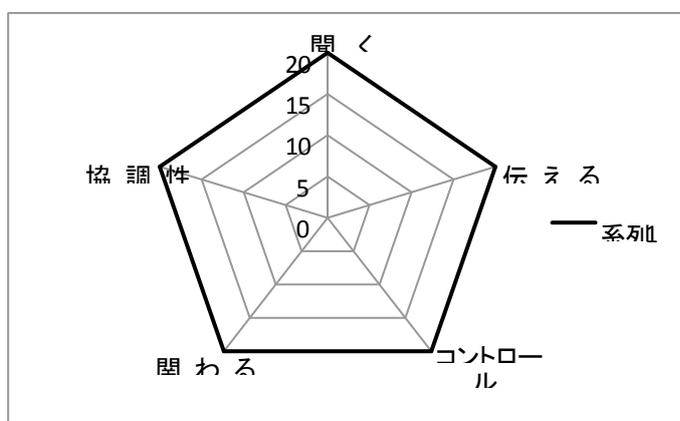
3. コントロール

		はい	どちらとも	いいえ
1	どんな時でも、かっとなったり暴れたりすることはない			
2	落ち込んでも学習(活動・作業・仕事)に影響は出ない			
3	どんなときでもやるべきことはきちんとやることができる			
4	混乱してもパニックをおこさない			
5	規則正しい生活(食事・睡眠・行動)ができる			
6	表情や態度から、相手の気持ちを理解することができる			
7	他人の目を気にせずに行動できる			
8	自分から行動することができる			
9	失敗してもいいわけをしない			

10	嫌な気持ちになっても表情に出さない			
合計点(はい…2点 どちらともいえない……1点 いいえ……0点)				3の合計 →

4. 関わり		はい	どちらとも	いいえ
1	ひとりで悩まずだれかに相談することができる			
2	困った時に頼りになる友人や仲間がいる			
3	自分の弱点や短所に気がついている			
4	自分の態度がまわりに悪い影響を与えないか気をつけている			
5	初対面の人とも会話することができる			
6	相手と意見交換をしたり、議論をすることができる			
7	バスや電車で席をゆずることができる			
8	敬語の使い方やおじぎの仕方を知っている			
9	困っている人(落ち込んでいる人)に声をかけることができる			
10	人間関係に気をつけて、集団にとけこむことができる			
合計点(はい…2点 どちらともいえない……1点 いいえ……0点)				4の合計 →

5. 協調性		はい	どちらとも	いいえ
1	自分の意見をまわりにおしつけない			
2	困っている人や無関心な人にも声をかけることができる			
3	場の盛り上がりや雰囲気を感じる事ができる			
4	みんなと気軽にしゃべりをする事ができる			
5	集団のルールやマナーをきちんと守ることができる。			
6	自分を心配してくれる人のことを考え行動することができる。			
7	仲間に迷惑をかけないように気をつけている			
8	時間や期限を守ることができる			
9	グループ・集団で作業や活動をする事ができる			
10	考え方や行動をみんなにあわせることができる			
合計点(はい…2点 どちらともいえない……1点 いいえ……0点)				5の合計 →



関く	20
伝える	20
コントロール	20
関わる	20
協調性	20

総合計	
-----	--

(2) 自己評価シート【毎日用】(後期サンプル)

本日の目標 平成 27 年 10 月 18 日 氏名 (後期サンプル C05)

行動が遅れないようにしたい。 先生の指示をしっかりと聞く	↓結果		
	3	2	1
		○	

講座後に結果を書きます。 とても良く頑張った→3, 良く頑張った→2, 少し頑張った→1

【聴く】

人の話を聴くことに関して		結果		
		3	2	1
1	人の話を聴く		○	
2	相手の顔を見ながら話を聴く		○	
3	相手の話を聴いた上で、会話を続ける		○	
4	いつでも、どこでも、誰の話でも、しっかりと聴く		○	

【話す(伝える)】

自分の意見を相手に伝えることに関して		結果		
		3	2	1
1	大きな声またははっきりした声で挨拶ができる		○	
2	言いたいことを正確に相手に伝えることができる		○	
3	親切にされたとき「ありがとう」と言える		○	
4	間違ったことなどをしたときに「ごめんなさい」と言える		○	

【コントロール】

自分の態度などをコントロールすることに関して		結果		
		3	2	1
1	表情や態度から相手の気持ちを理解することができる		○	
2	他人の目を気にせず話したり行動することができる		○	
3	失敗しても言い訳をしない		○	
4	どんなときもやるべきことはきちんと行うことができる		○	

【人と関わる】

相手と関わることに関して		結果		
		3	2	1
1	自分の短所や長所に気が付いている		○	
2	ひとりで悩まず誰かに相談することができる		○	
3	相手と意見交換したり議論したりすることができる		○	
4	人間関係に気をつけて集団に溶け込むことができる		○	

【協調する】

集団の中で協調することに関して		結果		
		3	2	1
1	自分の意見をまわりに押し付けない		○	
2	集団のルールやマナーをきちんと守ることができる		○	
3	仲間に迷惑がかからないように気を付けている		○	
4	考え方や行動をみんなに合わせるすることができる		○	

※ 平成 27 年度前期からの講座受講。出席率は高いが、行動に変化が見られない。

本日の目標

平成 27 年 10 月 18 日 氏名 (後期サンプルC16)

自分のことをちゃんと伝える。	↓結果		
	3	2	1
		○	

講座後に結果を書きます。 とても良く頑張った→3, 良く頑張った→2, 少し頑張った→1

【聴く】

人の話を聴くことに関して		結果		
		3	2	1
1	人の話を聴く		○	
2	相手の顔を見ながら話を聴く	○		
3	相手の話を聴いた上で、会話を続ける			○
4	いつでも、どこでも、誰の話でも、しっかり聴く		○	

【話す(伝える)】

自分の意見を相手に伝えることに関して		結果		
		3	2	1
1	大きな声またははっきりした声で挨拶ができる		○	
2	言いたいことを正確に相手に伝えることができる			○
3	親切にされたとき「ありがとう」と言える			○
4	間違ったことなどをしたときに「ごめんなさい」と言える			○

【コントロール】

自分の態度などをコントロールすることに関して		結果		
		3	2	1
1	表情や態度から相手の気持ちを理解することができる			○
2	他人の目を気にせず話したり行動することができる			○
3	失敗しても言い訳をしない			○
4	どんなときもやるべきことはきちんと行うことができる		○	

【人と関わる】

相手と関わることに関して		結果		
		3	2	1
1	自分の短所や長所に気が付いている		○	
2	ひとりで悩まず誰かに相談することができる			○
3	相手と意見交換したり議論したりすることができる			○
4	人間関係に気をつけて集団に溶け込むことができる			○

【協調する】

集団の中で協調することに関して		結果		
		3	2	1
1	自分の意見をまわりに押し付けない	○		
2	集団のルールやマナーをきちんと守ることができる	○		
3	仲間に迷惑がかからないように気を付けている	○		
4	考え方や行動をみんなに合わせるすることができる	○		

※ 平成 27 年度前期からの講座受講。出席率は低い。自尊心が低く、会話に全く自信がない。

9. 個別の指導計画と生徒の行動の変化

(1) 前期サンプル1

個別の指導計画

	(前期サンプルC01)	在籍校	静岡〇〇〇〇〇〇高等学校 (全・定・通) 普通科 第1学年 (単位制の場合 新入・中間・卒年)
生年月日	平成12年1月 日生 15歳		

状況

1. 生徒調書・副申書等からの転記

- ・興味があることに集中してしまい、時間を忘れて切り替えがうまくいかない。
- ・素直で真面目な為、物事を言われたとおりに受け取ってしまう。困っているという態度や発信が弱い。自分から話しかけること・文字を書くことが苦手。早く書いたり、丁寧に書いたりすることがあまりできない。身の回りの整理整頓が苦手。
- ・相手の表情から感情を読み取りにくい。あいまいな言葉の意味が理解しづらい。

目標の設定

1. 講座で身につけたいこと (生徒本人が設定) 様式Ⅱから転記

- ・人とのコミュニケーション能力を高めたい。

2. 講座終了後の目標とする姿 (在籍校の教員が設定) 副校長が聴き取り

- ・相手の表情や態度から相手の気持ちなどを推察できる。
- ・相手の気持ちによって、言葉を選び話し方を変えることができる。
- ・相手の話を聴き、理解し、共感できる。相槌を打てる。

3. 講座担当者が設定する目標 講師・学校支援心理アドバイザーが、上記1・2の内容、講座中の受講生徒の様子及び受講生徒との面談等から、より具体的な目標を設定する。講座期間中の目標達成の程度により、必要に応じて目標の見直し等を行う。

- ・相手の表情から相手の気持ちを分析できるようにする。
- ・語彙を増やす。(言葉の種類や自分のこと)
- ・相手の気持ちによって、言葉を選ぶことができる。
- ・話をするとき、主体は聴く相手であることを理解させる。

行動の変化

受講生[(前期サンプルCO1)]

講座(回数)	会 話	行 動	そ の 他
1	<u>自分から話しかけない①</u> <u>あまり話をしない。</u>	<u>一人で行動することが多い②</u> ↓	・落ち着かない様子。 ・もじもじしている。 ・昼食は一人で食べる。
2	・話しかけられると話す。 ・自分からも話しかけていた。	・皆の輪に入ることができた。	
3			欠席
4	<u>よく発表する。</u> <u>自分から進んで話しかける</u>	・自分の暑中見舞いのできを全員に聞いて回っていた。「上手」と言われ嬉しそうだった。	・慣れてきて明るくふるまうようになった。
5	・積極的に会話する。 ・明るい感じで話をする。↓	・卓球では女子相手でもスマッシュを決めていた。相手を気遣う様子は少ない	・午後はぐったりしていた。卓球で疲れた？
6	・早く来て「ジェンガやりませんか」と誘ってきた。職員に「今は忙しいから後で」と言われ N 君と始める	・体験では皿を片付けるときにすこしずさんな部分があった。みんなから指摘されて素直に直す。	
7	・笑顔で生徒と話をする姿が目立つ。人と関わろうとする姿が多く見られる。	・自分のやったことに対して評価を求める。	
8	・積極的に手を挙げて発言する。友達の話を聴き相槌をしっかりと打てる。		・午後に疲れが出ている様子
変 化	① 積極的に話すようになった	② 皆の輪に入れた。気遣いは不十分の場合あり	
本人の目標	人とのコミュニケーション能力を高めたい。		
目 的	相手の表情や態度から気持ちを推察できる。 相手の気持ちによって、言葉を選び話し方を変えることができる。 相手の話を聴き、理解し、共感・相槌を打てる。		
目 標	相手の表情から気持ちを分析できるようにする。 語彙を増やす（言葉の種類や自分の事） 相手の気持ちによって、言葉を選ぶことができる。 話をするとき、主体は聴く相手であることを理解させる。		
評 価	「人とのコミュニケーション能力を高めたい。」という目標を持って講座に参加した。積極的に声かけするように努力して声かけができるようになった。他人への気遣い(他人の話を聴く等)はまだ不十分である。		

(2) 前期サンプル2

個別の指導計画

生徒氏名	(前期サンプルC07)	在籍校	静岡〇〇〇〇高等学校 (全・定・通) 普通科 第3学年 (単位制の場合 新入・中間・卒年)
生年月日	平成 9 年 5 月 日生 17歳		

状況

1. 生徒調書・副申書等からの転記

- おとなしい、人見知り
- 認知能力、理解力、表現力が乏しい
- クラス内では孤独感が漂う。
- 困った時にヘルプを出すことができない。困ると逃げてどこかに行ってしまう。

目標の設定

1. 講座で身につけたいこと (生徒本人が設定) 様式Ⅱから転記

- 友達との関係をちゃんとつくりたい。
- 積極的に人間関係を築きたい。

2. 講座終了後の目標とする姿 (目的) (在籍校の教員が設定) 副校長が聴き取り

- (1) 相手と一定の距離を保ちつつ円滑に会話ができる。
- (2) 自分の事を上手に伝える事ができるようにする。

3. 講座担当者が設定する目標 講師・学校支援心理アドバイザーが、上記1・2の内容、講座中の受講生徒の様子及び受講生徒との面談等から、より具体的な目標を設定する。講座期間中の目標達成の程度により、必要に応じて目標の見直し等を行う。

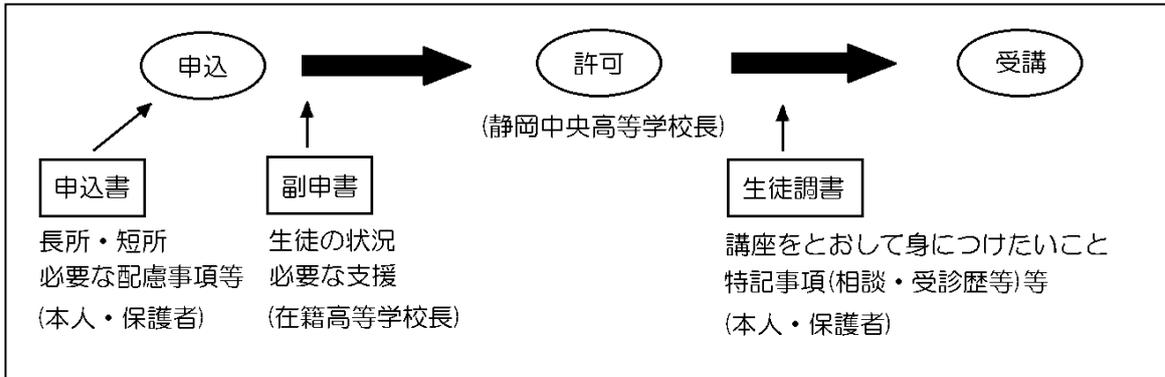
- (1) 会話するときの相手との距離を考えることができる。
 - 相手の感情をくみとり適切な距離を想定することができるようになる
- (2) 感情をコントロールできるようにする。
 - 話に夢中になるのではなく、相手の様子を見ながら話すことができるようにする
 - 今すべきことを明確にする。(会話しながら髪をとかしたりしない)
 - 場にあった適当な服装や態度を身につけさせる
- (3) 相手に伝えるべき自分のことをまとめることができる。
 - 自分の伝えたいことを(頭の中で)明確に文章化する
- (4) 自分の事を相手に伝える時、言葉を選び、わかりやすく伝えることができる。
 - 相手に応じて言葉(尊敬・丁寧・謙譲等)を選ぶことができる
 - 同一テンションで(抑揚なく論理的に)伝えるべきことを言葉にして発する

行動の変化

受講生[(前期サンプルC07)]

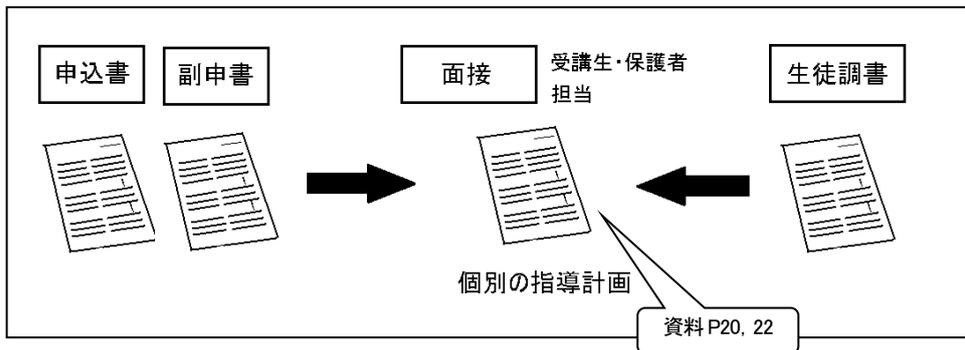
講座(回数)	会 話	集 中 力	そ の 他
1	・仲のいい友達と一緒に <u>終始笑顔</u> 。	・長い話には飽きてしまう様子。	・明るくムードメーカーである。
2	・得意な内容の会話は <u>ハイテンション</u> になる。	・髪を触る(チックのよう)	・高校生らしいかわいいメールを作っていた。
3	・仲のいい友達と一緒にだと安心だが、 <u>一人は不安</u> ①	・髪を触ったり、携帯を見たり <u>落ち着かない</u> ②	・強く人見知りするタイプ ・慣れない人と一緒にだと固まる。
4	↓ ・ <u>一人でも話しかけられる</u> 。	・髪を触ったり <u>落ち着かない態度</u> が少なくなった。	・認知能力・理解力・表現力が乏しい ・困ったときにヘルプを出せない ・辛いことを思い出すと泣いたり過呼吸になったり硬直したり床を這うこともある
5	・自分から朝のあいさつをする。	・パソコンは苦手そうだが、 <u>あきらめずに一人</u> でやっていた。	・服装について注意を促される。 ↓
6	・発表の時に <u>声かやや上ずる</u> 。 ・ <u>新しい受講生にやさしく声掛け</u> をする。	・概ね <u>集中して講座を受けること</u> ができる。 ・指示が無いと姿勢が崩れることがある。	・適切な服装で受講する。 ・以前より明るくなった。 ・受講内容を報告してくれる ・困り感を言葉に出せるようになった ・周囲の同級生が受験のため、本人をかまう余裕がなくなり、本人は孤独感を感じている
7	・以前よりハイテンションではしゃぐことが少なくなった。	・じっとしているのが苦手。 ・髪を毛を触ることが多い。	
8	・いつもより発言が少ないが、 <u>落ち着き、集団の中での過ごし方</u> が身についてきた。	・落ち着いた態度で参加する。 ・髪を気にすることは少ない	・職員控室で携帯の写真をとりたがる。
変 化	③ 自分から話しかけられる	④ 講座に集中できるようになった。	※ <input type="checkbox"/> 内は在籍高校での様子
本人の目標	友達との関係をちゃんとつくりたい。 積極的に人間関係を築きたい。		
目 的	相手と一定の距離を保ちつつ円滑に会話ができる。 自分の事を上手に伝える事ができるようにする。		
目 標	会話するときの相手との距離を考えることができる。 感情をコントロールできるようにする。 相手に伝えるべき自分のことをまとめることができる。 自分の事を相手に伝える時、言葉を選び、わかりやすく伝えることができる。		
評 価	「友達との関係をちゃんとつくりたい」「積極的に人間関係を築きたい」という目標を持ち、講座に欠かさず出席した。講座中は講師の話をよく聴き、集中して活動した。講座の中で他人に積極的に話しかける等、努力を積み重ねた		

(1) 受講決定までの流れ



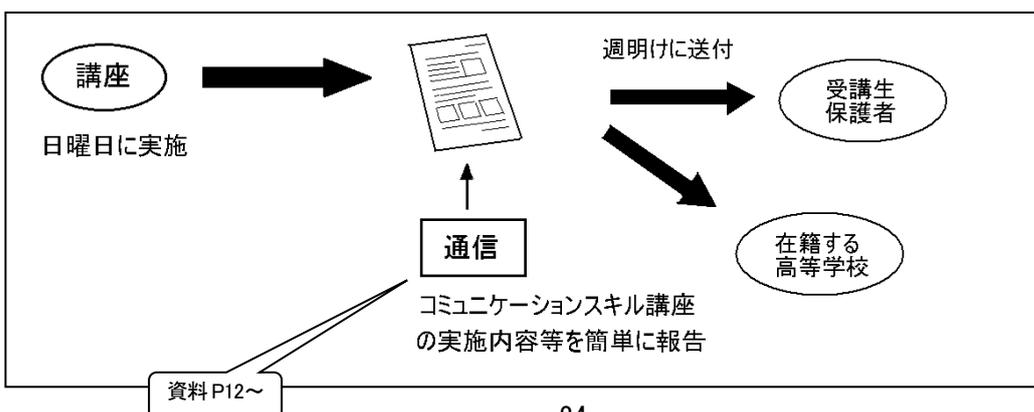
(2) 個別の指導計画

- ア 担当者は受講者(と保護者)との面談により「個別の指導計画」を作成する。
- イ 講師・支援員等で「個別の指導計画」を修正・共有する。
- ウ 受講の様子により「個別の指導計画」を修正する。



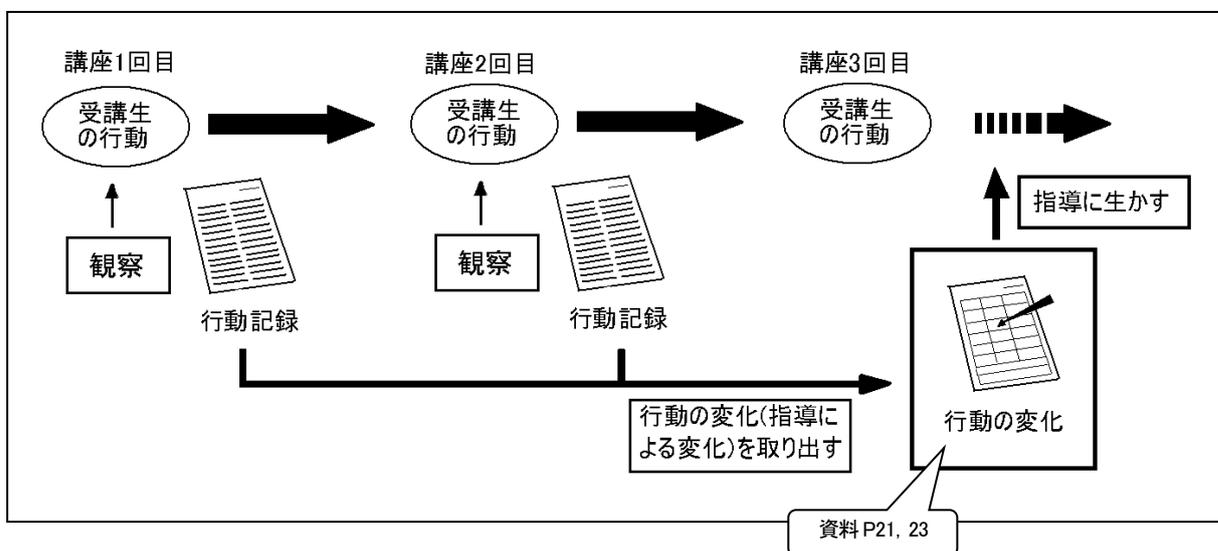
(3) 講座の様子の伝達

- ア 担当者は、講座の様子や次回の予定・持物等を記載した「通信」を作成する。
- イ 担当者は「通信」を受講生(保護者), 在籍高等学校, 講師等に送付する。
- ウ 教員は、共有フォルダに保管された3キャンパス分の「通信」を閲覧することができる。



(4) 受講生徒の行動の変化を把握して評価する

- ア 受講生を観察し、その行動を記録する(「行動記録」)
- イ 「行動記録」から(個別の指導計画の目標に沿う)「行動の変化」を取り出す
- ウ 「行動の変化」を指導にフィードバックする



(5) 行動の変化及び評価の伝達

- ア 「個別の指導計画」「行動の変化及び評価」を保護者及び在籍高等学校に送付する
- イ 在籍高等学校に「在籍高校の様子(受講生の行動の変化)」を送付依頼する
- ウ 保護者会にて「家庭の様子(受講生の行動の変化)」を聴取する
- エ 「在籍高校の様子」「家庭の様子」を指導にフィードバックする

